

学部連携地域医療実習

【一般目標 (GIO)】

将来、医療チームで地域医療に参加し、地域住民の健康回復・維持や在宅専門性に基づくチーム医療に必要な知識、技能、態度の基本を修得する。

【行動目標・到達目標 (SBOs)】

1. 医療人としてふさわしい身だしなみと態度を示すことができる。
2. 各医療・介護施設のスタッフや患者、利用者、家族に対して適切な態度で接することができる。
3. 実習を通して知りえた個人情報の守秘義務を厳守する。
4. 地域医療における医療・保健・福祉を扱う資源（人・資源）の役割とその連携の必要性を説明できる。
5. 地域医療における診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、各種福祉介護施設の役割とその連携の必要性を説明できる。
6. 地域医療におけるチーム医療の実情や問題点について説明し、討論できる。
7. 在宅医療・介護における各医療職の役割とその連携の重要性を説明できる。
8. 各医療専門職の立場で、在宅医療・介護を受ける患者の背景を共有できる。
9. 医療チームの討議により、在宅医療・介護を受ける患者に最善の医療・介護を提示し実施できる。
10. 医療チームで在宅医療・介護に参加する際に求められる留意点、注意点に配慮。
11. 病院と地域の医療連携の実際と問題点を説明できる。

【対象学年・時期】

医・歯・薬学部6年生、保健医療学部4年生の学部連携地域医療実習を選択した学生

5月9日～20日、5月23日～6月2日のいずれかの2週間

【実習概要】

複数学部のグループ（1グループ4名程度）が、地域において要介護高齢者、神経難病、脳血管疾患の後遺症など病院に通院不可能な患者に対する在宅医療をチームで実施している地域において、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、福祉介護施設などの施設での連携の取れた地域医療を参加型実習で学習する。さらに在宅医療、在宅介護に参加し、患者の病態を各専門職の立場から理解した上で、最善の医療・介護を実習に参加した学生が医療チームとして討議した成果を提案する。実習内容はグループごとにその成果を報告会において報告する。実習は合計2週間実施する。

【評価】

評価はポートフォリオ（目標書き出しシート、体験シート、ふりかえりシート、成長報告書）と学外指導担当者評価（指導担当者）を用いる。ポートフォリオは実習前から記載し、日々の活動記録と記載評価表はチェック形式で行い、夕のミーティングの態度および実習最終日の発表報告会などについては担当した複数の指導教員が評価する。

【平成23年度実施内容の概要】

実習地域は、大田区2地域、富士吉田市・河口湖町（富士北麓）地域の3地域で行った。以下に各地域における実習内容の概略と担当教員の感想を略記する。

1. 大田区K地域実習に参加した学生は、歯学部1名、薬学部2名、保健医療学部看護学科1名の4名、実習施設は医科診療所1、歯科1、訪問薬局4、訪問看護ステーション3、大学病院地域連携室1、の計10施設で各施設の担当スタッフに指導担当者として直接指導をお願いした。学生全員が訪問でき情報を共有して学生チームでまとめて発表し

た患者は介護度5のALSの60歳代女性であった。発表報告会では、患者の日常生活、服薬、口腔内状態などの情報を共有して学生同士で検討した問題点リストあげ、プロブレムマップを作成して、それぞれの問題点の原因とその対処法をパワーポイントで提案し、最後に「これから期待される地域医療」について各学部の専門の立場から意見発表した。各施設の指導担当者の評価とコメントから、全員が積極的に実習に参加しており、他職種と自分の専門職との連携や医療の現場体験により、知識は前提であって、人柄とコミュニケーションが信頼を得るものであることを学んだと思われる。

2. 富士北麓地域実習に参加した学生は、歯学部1名、薬学部2名の計3名、実習施設は、医科診療所2、歯科診療所3、訪問薬局2、訪問看護ステーション1、病院地域医療支援センター1、病院療養型介護病棟1、の計10施設で各施設の担当スタッフに指導担当者として直接指導をお願いした。歯学部生は、問題点をプロブレムマップとしてまとめ、問

題点の分析に長けていた。薬学部生Aは、病状経過分析、病態把握能力が高く、同Bは薬剤師としての立場からの視点で薬品の改善や資源の管理などの提案をされ、それぞれが5年余の間に受けてこられた学習の場で得られた考え方が出ていると感じられた。

3. 大田区S地域実習に参加した学生は、歯学部1名、薬学部3名の計4名、実習施設は医科診療所2、歯科診療所2、訪問薬局1、訪問看護ステーション2、の計7施設で各施設の担当スタッフに指導担当者として直接指導をお願いした。今回の実習では、全員の共通の患者ではなく、本実習の中核施設である医院の先生によって全員に共通課題「認知症終末期に胃瘻を挿入するか?」を出していただき、最終日に各自が発表を行う実習形態であった。他の大学の医学部学生の地域医療教育も担当している先生の熱心な指導と患者に対する態度から多くのことを学んだ様子が本実習の学生の体験シートからよく伺うことができた。

日程	歯学部6年生 伴場紀子	薬学部6年生 池田由衣	薬学部6年生 杉本修康	看護学部4年 蟹沢奈々
5/9(月)	7:30 蒲田駅西口改札 集合			
	7:45 かわいクリニックスタッフに挨拶、リハビリ			
	8:00~ 河井先生(医)/佐瀬	8:50碑文谷薬局 集合		かわいクリニック カルテ調べ
5/10(火)	9:50 患者(A)自宅前 集合 NSステーションまどか(看) 国見Ns.	8:50 かわいクリニック 集合		午前 自習
	15:05 患者(B)自宅前 集合 NSステーションまどか(看) 山田Ns.	9:00~ 細川先生(医)/梅津		12:20 みんな薬局 集合 12:30 みんな薬局(薬)
	終了後 旗の台キャンパス1号館5階 540 口腔衛生学教室へ集合			
5/11(水)	10:00 かわいクリニック 集合 午後の患者情報収集			
	患者自宅前 13:45中井先生/嶋村 (在宅難病患者C)			
5/12(木)	8:55 あい薬局 集合	9:00~ 昭和大学 医療連携室	9:20 患者(D)自宅前集合 NSステーションまどか	8:55 そら訪問看護 集合
	9:00~18:00 あい薬局	自習	13:00~ 昭和大学医療連携室	9:00~17:00 そら訪問看護(看)
5/13(金)	8:45 クオール薬局 集合		9:15 患者(E)自宅前集合 セコム大田訪問看護(看) 漆戸Ns.	7:20 かわいクリニック 集合
	9:00~17:00 クオール薬局	自習		7:30~ 河井先生(医)/佐瀬

日程	歯学部6年生 伴場紀子	薬学部6年生 池田由衣	薬学部6年生 杉本修康	看護学部4年 蟹沢奈々
5/16(月)	7:45 かわいクリニック 集合	8:50 碑文谷薬局 集合		8:55 そら訪問看護 集合
	8:00 河井先生(医)/佐瀬	9:00~17:00 碑文谷薬局(薬)		9:00~17:00 そら訪問看護(看)
5/17(火)	8:55 かわいクリニック 集合(9:45頃クリニック車で出発/山崎)			
	10:30 中井先生/嶋村 (在宅難病患者1名)			
午後 発表会の準備 (昭和大学 旗の台キャンパス)				
5/18(水)	8:55 あい薬局 集合	8:55 かわいクリニック 集合		8:45 クオール薬局 集合
	9:00~18:00 あい薬局	9:00~ 細川先生(医)/梅津		9:00~17:00 クオール薬局
5/19(木)	10:50 患者(F)自宅前集合 NSステーションまどか(看)	10:00 発表会の準備 (かわいクリニック)		
	かわいクリニック 14:00~15:00 総括 (河井先生) 15:00~16:00 発表会 (河井先生、向井教授)			
	ミーティング			
5/20(金)	9:00~ 昭和大学医療連携室	10:30 患者(G)自宅前集合 セコム大田訪問看護(看) 阿部Ns.	10:30 患者(H)自宅前集合 セコム大田訪問看護(看) 漆戸Ns.	10:00 多摩川駅集合 みんな薬局(薬) 山崎先生
	13:50 ほんだ歯科 集合	13:50 碑文谷薬局 集合		13:00~ 昭和大学医療連携室
14:00~17:00 ほんだ歯科(訪問歯科)				
14:00~17:00 碑文谷薬局(薬)				
17:30 かわいクリニック集合 終了の挨拶				